

単元名：ふるさと海田の魅力発見！
～南小校区お宝発掘し隊～

男子11名 女子22名 計33名

指導者 遠藤 康平・白石 絵美

単元について

○ 児童の実態

本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間において、校区の様子や校区内の公共施設及び、瀬野川の魅力について、体験活動や調べ学習などで収集した情報をまとめ、伝える活動をしている。また、「みんなえがお 南小ふるさと館」の単元において、校内に昔の道具展示室をつくろうと、仲間と協力してよりよい展示にするための方法や発表の方法を考える活動にも取り組んできた。第4学年では「海田の地名の不思議を探ろう」の単元において、海田町の地名や現在の海田町について調べ、まとめる活動をしてきた。そのため、海田町を大切に思う気持ちが育まれてきている。

一方で、事前に児童に行ったアンケートにおいて、「自分たちの校区である南小校区の魅力を挙げましょう」で3つ以上挙げられた児童は21.8%であったことから、自分達が住む南小校区について知っているようでもあまり知らない児童が多いと言える。

○ 単元観

海田町には、日本人初のオリンピック金メダリスト「織田幹雄」氏や、町花「ひまわり」、「千葉家・三宅家」など多くの著名な人・こと・物が存在し、これまでに教材化されてきた。南小校区にも、弥生時代の生活の跡が見られる権現山貝塚や、海田昔話にも取り上げられ地域の人々から大切にされ続けている貞福寺霊泉跡など、重要な文化財が多く存在する。

本単元は、児童にとって身近な校区内の文化財にスポットを当て、自分達の校区に残る文化財にはどんなものがあるのかを「西国街道・海田市ガイドの会」の方の案内のもとに調べ、それぞれの文化財が建立された由来や現在に至るまでの歴史や意義を学ぶことで地域の先人や願いを知るという、昨年度開発した単元である。

「南小校区の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。」という思いのもと、ガイドツアーを計画し実施する。課題を主体的に解決しようとする力や、収集した情報を関連付けて考える力、調査から得た複数の情報の中からより興味の湧く情報を選択する力を育てることができると考える。

更に、地域への愛着や誇りをもち、これからの自己の生き方を見つめることのできる児童を育てていくことをねらう。

○ 指導観

課題設定の場面では、海田町について知っていることをウェビングマップを用いて発表させたり海田かるたを分類させたりすることにより、自分達が校区についてあまり知らないことに気付かせる。また、他の校区には「千葉家」などよく知られている文化財が多くあるが、南小校区のものはほとんど知られていないという現状に気付かせる。そして、自分たちの校区に眠る文化財について知るとともに、その魅力を多くの人に知ってもらいたいという意欲をもたせ、課題設定につなげていきたい。

情報収集の場では、海田市ガイドの会の方と一緒に校区ツアーに出て、自分たちの知らない校区の魅力を見付けさせる。その際、ガイドの会の方から聞き取りを行ったり実際に見たりする中で、

紹介したい校区の「お宝」についての情報を集めさせる。また、紹介する文化財が同じ児童同士でグループをつくり、調べたことや考えたことを伝え合うことで、自分の考えを広げたり深めたりしながら、内容の過不足や伝え方の工夫を考えながら情報収集できるようにする。また、未習の歴史学習については、歴史上の主な事象と海田南校区の歴史を並べた年表を見せ、視覚的に大まかな歴史を理解できるようにさせる。

まとめ・創造・表現の場では、自分達が調べた校区の魅力についてガイドブックを作成し、ガイドツアーで活用させる。更に、これを「ふるさと館」や「町立図書館」で配布することにより、より多くの人に校区の魅力を発信させる。ガイドツアーは、保護者や地域の方を対象として行うこととし、プレガイドツアーで、内容や方法について友達や6年生からアドバイスをもらうことにより改善させる。この活動を通して、一人一人に「ふるさと海田」に暮らす一員であるという自覚をもたせ、南小校区のよさを自分達でアピールしたいという意識を育てたい。

振り返りでは、保護者や地域の方などの感想をもとに、ガイドツアーの成果と課題を整理し、先人達の思いを受け継ぎ、今後の生活の中で南小校区のよさや誇りの伝承に向けて自分達にできることをまとめさせる。

単元の目標について

- ・校区内の文化財が建立された由来や現在に至るまでの歴史や意義を学ぶことで地域の先人や願いを知り、ガイドブック作成やツアー開催をすることができる。 **【知識及び技能】**
- ・校区を紹介するガイドブック作成やツアー開催のために必要な情報を収集し、情報を関連付けながら理由や根拠を明確にして、自分達の「お宝」の魅力を伝える方法について考えることができる。 **【思考力・判断力・表現力等】**
- ・校区の魅力を伝えるための活動について、主体的に課題を設定し、解決しようとするとともに、活動を通して、地域への愛着を深めながら、校区の魅力をたくさんの人に伝えられる喜びを感じ、自分自身の成長や友達のよさに気付くことができる。 **【学びに向かう力、人間性等】**

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・校区内の文化財が建立された由来や現在に至るまでの歴史や意義を学ぶことで地域の先人や願いを知り、ガイドブック作成やツアー開催をしようとしている。	・ガイドブック作成やツアー開催に向けて収集した情報を相互に関連付けながら、理由や根拠を明確にして、「お宝」の魅力を伝える方法を考えている。	・校区の魅力を伝えるための活動について、主体的に課題を設定し、解決しようとするとともに、活動を通して、地域への愛着を深めながら、校区の魅力を伝えられる喜びを感じ、自分自身の成長に気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・よりよい紹介をするために必要な情報について考えながら、進んで情報を収集したり、たくさんの人に校区の魅力が伝えられるように準備したりしている。	・ガイドブック作成やツアー開催に必要な情報を進んで収集したり、準備したりしている。
【思考力】	・ガイドブック作成やツアー開催に向けて収集した情報の中から、地域の魅力をたくさんの人によりよく伝えるという視点で、情報を相互に関連付けながら、理由や根拠を明確にして、「お宝」の魅力を伝える方法を考えている。	・ガイドブック作成やツアー開催に向けて収集した情報を相互に関連付けながら、理由や根拠を明確にして、「お宝」の魅力を伝える方法を考えている。
【自己理解】	・活動を通して、地域への愛着をより深めながら、校区の魅力を伝えられる喜びを感じ、地域の活動や行事に進んで取り組んでみたいという思いをもち、自分自身の成長や友達のよさに気付いている。	・活動を通して、地域への愛着を深めながら、校区の魅力を伝えられる喜びを感じ、自分自身の成長に気付いている。

指導と評価の計画

全 23 時間

次	時	学習内容	評価				
			知	思	学	評価規準	評価方法
一	1 ・ 2	課題の設定①（２） ○学習課題を設定するとともに、学習の見通しを立てる。 ・海田町について知っていることをウェビングマップを用いて整理して発表したり、「海田かるた」を用いて学習したりする中で、海田南小校区の魅力が十分に知れ渡っていないことに気づき、自分たちで「ふるさと海田」の魅力を保護者や地域の方に発信するという学習課題を設定する。 ・学習計画を立て、学習で身に付けたい力について考える。			○	・「ふるさと海田」の魅力を保護者や地域に発信するという学習課題を設定している。	発言 行動観察 ワークシート
	3 ～ 6	情報の収集①（４） ○「海田町お宝発見ツアー」に参加し、海田町の魅力を見付ける。 ・海田町ガイドの会の方と一緒に校区ツアーに出て、校区の魅力を見付ける。 ・ガイドの会の方から聞き取りを行い、紹介したい「お宝」についての情報を集める。	○			・「海田町お宝発見ツアー」を通して、紹介したい魅力（お宝）を見つけている。	行動観察 探検ブック
二	7 ・ 8	整理・分析① 情報の収集②（２） ○収集した情報を整理し、紹介したい校区の魅力についてさらに情報収集する。 ・紹介したい「お宝」についての情報を整理し、「お宝」の根拠や理由をボーン図に整理する。 ・海田町について書かれている資料などを読み、紹介したい内容について、さらに情報を集める。			○	・収集した情報を根拠を明確にして整理し、紹介したい校区の魅力についてさらに情報収集している。	発言 行動観察 ワークシート

次	時	学習内容	評 価				
			知	思	学	評価規準	評価方法
二	9 ・ 10	整理・分析②（２） ○収集した情報を整理・分析する。 ・収集した情報を整理し、紹介したいことの内容や根拠を明確にして、まとめる。 【本時 2/2時】		○		・収集した情報について、紹介したいことの内容や根拠を明確にして、整理し、まとめている。	発言 行動観察 ワークシート
	11 ・ 12	まとめ・創造・表現①・課題の設定②（６） ○ガイドブックを作成するとともに、プレガイドツアーの必要性に気付く。② ・紹介したい「お宝」について、ガイドブックにまとめる。 ・プレガイドツアーの必要性に気付くとともに、プレガイドツアーを開く準備をする。			○	・紹介したい「お宝」について、ガイドブックに書く内容を考え、ガイドブックを作成している。 ・より良いガイドの仕方について考え、プレガイドツアーの必要性に気付いている。	発言 行動観察 ガイドブック
	13 ～ 15	○プレガイドツアーを行う。③ ・グループごとに交流し、ガイドブックの内容の過不足や伝え方についてアドバイスし合う。(①) ・昨年度にツアーを行った6年生を対象にプレガイドツアーを行い、内容の過不足や伝え方についてアドバイスをもらい、改善する。(②)			○	・プレガイドツアーをグループで交流し、より良いガイドツアーに向けて、内容の過不足や伝え方の工夫について考え、アドバイスし合っている。	発言 行動観察
	16	○プレガイドツアーを振り返り、ガイドブックの内容を見直す。 ・プレガイドツアーを踏まえ、もっとよいガイドブックやツアーにするためには、どんな工夫が必要か話し合う。			○	・プレガイドツアーを振り返り、もっとよいガイドブックやツアーにするために、どんな工夫が必要か考え、意見を交流している。	発言 行動観察 ガイドブック
	17	情報の収集③（１） ○「お宝」の魅力発信に向けて、さらに必要な情報を集める。 ・さらに知りたいことや調べたいことについて、必要な情報を集め、ガイドブックやガイドツアーの紹介内容を決める。			○	・お宝の魅力が伝わるように、よりよいガイドツアーに向けて、さらに知りたいことや調べたいことについて必要な情報を集め、ガイドブックやガイドツアーの紹介内容を決めている。	発言 行動観察 ガイドブック
	18 ・ 19	まとめ・創造・表現②（４） ○「お宝紹介ガイドツアー」に向けて、準備を行う。 ・ガイドブックやガイドツアーに必要な物や分担を考え、計画を立てる。 ・計画をもとに、必要な物を準備したり練習したりするとともに、ポスターや地域の方々への呼び掛け等でよりたくさんの人に発信できるようにする。			○	・お宝の魅力が伝わるように、よりよいガイドツアーに向けて必要な物を準備したり練習したりしている。	発言 行動観察 ワークシート
	20 ・ 21	○「お宝紹介ガイドツアー」を行う。 ・保護者や地域の方を対象に、校区の魅力を伝えるガイドツアーを行う。			○	・ガイドツアーを行い、校区の魅力や理由を明確にして伝えている。	行動観察

三	22	<p>振り返り（２）</p> <p>○「お宝紹介ガイドツアー」を振り返る。</p> <p>・保護者や地域の方などの感想をもとに、「お宝紹介ガイドツアー」の成果と課題を整理し、活動を振り返る。</p> <p>○単元を振り返り、成果を分析し、自らの学びや学び方を振り返る。</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>・学習の初めに立てた計画をもとに、自らの学びの成果や友達のよさを振り返るとともに、今後の生活の中で大切にしていきたいことをまとめる。</p>	○	<p>・ガイドツアーを振り返り、成果と課題を整理するとともに、単元全体を通して、自らの学びの成果や友達のよさ、今後の生活の中で大切にしたいことをまとめている。</p>	<p>発言 ワークシート</p>
	23				

本時の学習

（１）本時の目標

- 収集した情報について、紹介したいことの内容や根拠を明確にして、整理し、まとめることができる。

（２）本時の評価規準

- 収集した情報について、紹介したいことの内容や根拠を明確にして、整理し、まとめている。

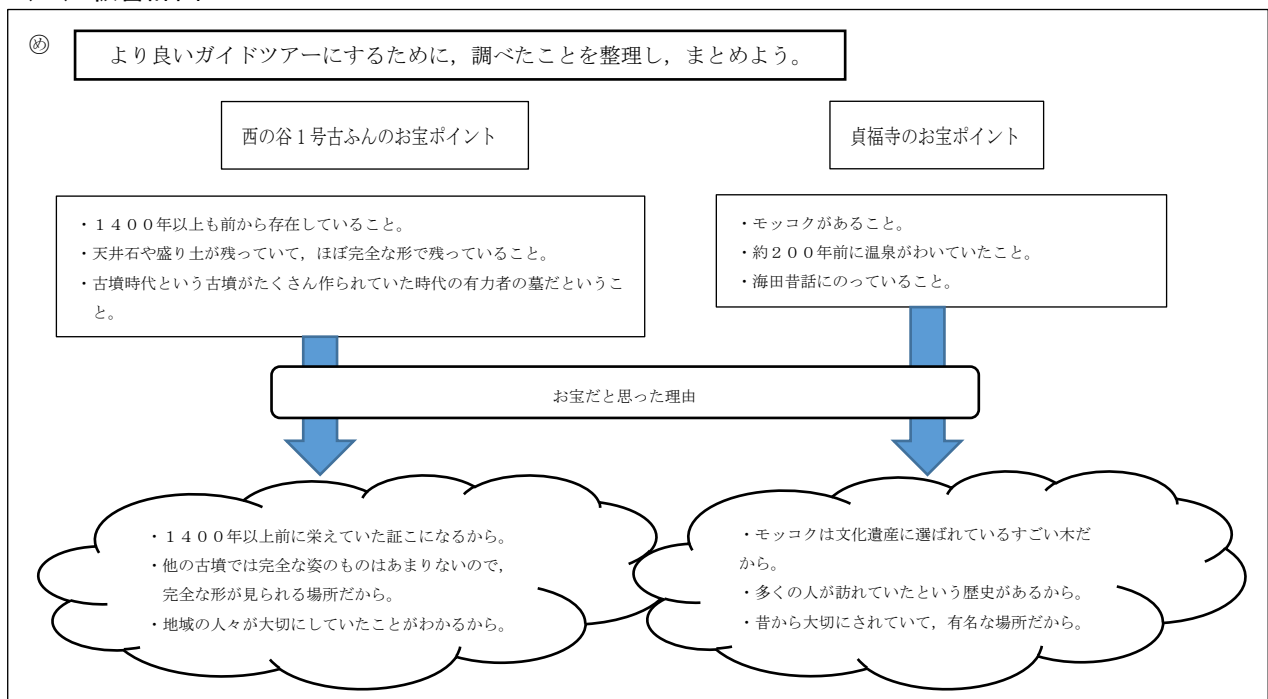
【思考力・判断力・表現力等】

（３）本時の学習展開（10 時間目／全 23 時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準【観点】 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時の学習を振り返るとともに、本時の学習課題を確認する。 ○ガイドツアーに向けて、前の時間までに、調べたことを確かめましょう。	◇前時までに、調べた紹介内容を確認するとともに、ガイドツアーで伝える相手や目的を再確認する。	
めあて より良いガイドツアーにするために、調べたことを整理し、まとめよう。		
本時のゴールの見通し（評価規準）		
<p>A：収集した情報について、友達の発表においても、紹介したいことの内容や根拠を明確にして整理し、まとめている。</p> <p>B：収集した情報について、紹介したいことの内容や根拠を明確にして整理し、まとめている。</p>		
2 調べた内容を交流し合う。 ○ガイドツアーでどのようなことを伝えるとよいかを考えながら調べた内容を交流し合い、グループでアドバイスをし合う。	◇同じ場所を担当しているメンバーでグループを組み、どのような内容を伝えるとよいかという視点で、交流させる。 ◇自分が考える魅力を付箋に書き出し、見せ合うことで、友達同士で分類し伝えたい魅力をまとめさせる。	◎収集した情報について、紹介したいことの内容や根拠を明確にして、整理し、まとめている。【思考力・判断力・表現力等】 (発言・行動観察・ワークシート)

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準【観点】</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>・古墳の説明では、ガイドブックの年表を見せた方が、古さがより伝わるよ。</p> <p>・湧き水の説明では、80年前の大山火事の出来事を伝えると、凄さがより伝わるよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>□思考の場の工夫 焦点化する</p> <p>伝えたい内容が伝わるかという視点でガイドの改善点を考えさせる。</p> </div> <p>3 本時の学習をまとめ、振り返る。</p>	<p>◇付箋でまとめた魅力が、自分達が調べたことで伝わるかを考え、内容の過不足や伝え方の工夫について互いにアドバイスし合わせる。新たに出た内容を色の違う付箋に書き込ませ、整理させる。</p> <p>◆前時までに考えた魅力を短い言葉で書かせておき、それを見ながら考えさせる。</p>	
<p>★めざす児童の姿</p> <p>「南小校区には古ふん時代の有力者がいた」ということを伝えるには、当時、他の地域で起こっていたことを伝えると有力者の意味や凄さが伝わるということを知ってもらったので、歴史の本を使って調べ、分かりやすく伝えたい。</p>		
		<p>◇次時は、よりよいガイドに向けて、改善していくことを知らせる。</p>

(4) 板書計画



〈参考〉「学びのモニタリング」

学びのモニタリング

「ふるさと海田の魅力発見！」南小校区お宝発掘し隊

五年 組 ()

自分から取り組む力

ガイドブック作成やツアー開催に必要な情報を進んで収集したり、準備したりすることができたか。

- (1)とてもよくできた (2)よくできた (3)あまりできなかった (4)できなかった

〈理由〉

深く考える力

ガイドブック作成やツアー開催に向けて収集した情報を相互に関連付けながら、理由や根拠を明確にして、「お宝」の魅力伝える方法を考えることができたか。

〈理由〉

自分をふりかえろう

活動を通して、校区の魅力を伝えられる喜びを感じ、自分自身の成長に気付くことができたか。

〈理由〉

